



# 2011年3月期 決算説明資料

WIN INTERNATIONAL CO., LTD.

2011年5月13日

証券コード:2744

株式会社ウイン・インターナショナル

代表取締役社長 秋沢 英海

<b>1. 前期決算概要報告</b>	<b>3</b>
1. 決算サマリー	4
2. 前期決算の総括	5
3. 要約損益計算書	7
4. 四半期業績推移	8
5. 主要商品別販売数量伸長率	9
6. 営業利益の増減要因分析	10
7. 要約貸借対照表	11
8. 要約キャッシュ・フロー計算書	12
<b>2. 今期の戦略と予想</b>	<b>13</b>
1. 事業環境	14
2. 基本戦略	17
3. 重点施策	18
4. 成長分野への取り組み	20
5. 今期予想	23
6. 株主還元	24
7. 成長戦略	25



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

# 1. 前期決算概要報告

---

# 1-1 決算サマリー

	2010年3月期		2011年3月期		
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	前期比(%)
<b>売上高</b> (期初見通し)	29,987	100.0	29,258 (29,021)	100.0 (100.0)	▲ 2.4
<b>営業利益</b> (期初見通し)	1,541	5.1	1,449 (1,398)	5.0 (4.8)	▲ 5.9
<b>経常利益</b> (期初見通し)	1,548	5.2	1,461 (1,405)	5.0 (4.8)	▲ 5.7
<b>当期純利益</b> (期初見通し)	902	3.0	854 (813)	2.9 (2.8)	▲ 5.4
<b>1株当たり純利益 (円)</b>	73.34	—	69.41	—	▲ 5.4
<b>1株当たり純資産 (円)</b>	500.81	—	542.47	—	+8.3
<b>1株当たり配当金 (円)</b>	26.00	—	25.00	—	▲ 3.8

# 1-2 前期決算の総括①

## 【事業環境】

- ・償還価格改定 ⇒ 医療材料価格の引き下げにより、当社主力取扱製品の販売価格は低下、診療報酬の引き上げにより、一部病院の収益が改善し、値下げ圧力は和らぐ
- ・新製品の上市 ⇒ メーカー間の競争激化により、価格・条件交渉が有利に
- ・低侵襲治療の浸透、市場の拡大 ⇒ 低侵襲治療の症例数の増加
- ・手技・デバイスの進化 ⇒ 対象症例の拡大、販売数量の増加



## 【取り組み】

- ・主要分野PCIIIに加え、成長期待分野の営業を強化
- ・仕入価格交渉の強化、一括購入、リベートアロワンスの拡大、対象製品の多種化
- ・総合的な営業提案の強化
- ・顧客密着型の営業体制へシフト  
(成長分野への人員強化、営業所の整備)



## 【結果】

- ・売上高は、償還価格の低下があったが、販売数量は増加した。前期比 ▲2.4%
- ・売上総利益率は、前期差(全体)+0.30pt (消耗品関連)+0.37pt  
売上総利益額は、前期比(全体)▲0.2%、(消耗品関連)+0.9%
- ・大学病院・グループ病院との取引拡大、新規取引先の獲得
- ・販管费率:人員増等により前期差+0.49pt

# 1-2 前期決算の総括②

## 水平戦略

### 長期的な取り組み その1 (水平戦略): 営業エリアも着実に拡大

#### 【西日本】

- ・前期に続き、今期も各拠点の成長を図るステージ

#### 【東日本】

- ・主要エリアとなる関東については営業職を増員、新規顧客の対応力を拡充
- ・沼津出張所を新設、千葉営業所を拡大移転

### 長期的な取り組み その2 (垂直戦略): 取り扱い診療科目も着実に拡大

- ・低侵襲治療関連の医療機器販売の推進(心臓を中心に頭、足、頸、消化器等)
- ・成長期待分野に人員増強、研修制度により専門性の強化

CVS(心臓血管外科): マーケットが拡大傾向にあるステントグラフト等の販売の推進

CRS(心臓律動管理): ペースメーカーから、より高機能・多機能のICD、CRT-Dへシフト

DMS(糖尿病関連): 関東エリアのインスリンポンプ等の販売体制を構築

## 垂直戦略

### ガバナンス・内部統制・リスク管理

- ・一般株主の利益保護の観点から、社外役員3名全員を独立役員に指定。
- ・内部通報制度における外部通報窓口の運用。

# 1-3 要約損益計算書

	2010年3月期		2011年3月期		
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	前期比(%)
売上高	29,987	100.0	29,258	100.0	▲ 2.4
売上原価	26,044	86.9	25,322	86.5	▲ 2.8
売上総利益	3,942	13.1	3,936	13.5	▲ 0.2
販売管理費	2,401	8.0	2,486	8.5	+3.5
営業利益	1,541	5.1	1,449	5.0	▲ 5.9
営業外収益	12	0.0	14	0.0	+17.8
営業外費用	4	0.0	2	0.0	▲ 36.0
経常利益	1,548	5.2	1,461	5.0	▲ 5.7
特別利益	—	—	5	0.0	—
特別損失	—	—	3	0.0	—
税引前当期純利益	1,548	5.2	1,462	5.0	▲ 5.5
税金費用	646	2.2	608	2.1	▲ 5.8
当期純利益	902	3.0	854	2.9	▲ 5.4

売上高 ▲2.4%

(マイナス要因)

償還価格の引き下げ

(プラス要因)

- ・数量ベースでの増加  
(症例数、症例あたり使用量の増加)
- ・心臓律動管理関連等の高額製品の販売増加

売上総利益率 +0.30pt

(プラス要因)

- ・取扱主力製品の仕入条件の改善
- ・販売目標達成によるリベートプログラムの寄与
- ・商品の一括購入によるコストダウン

売上総利益額 ▲0.2%

(マイナス要因)

- ・償還価格の引き下げ
- ・その他事業の売上総利益額の低下

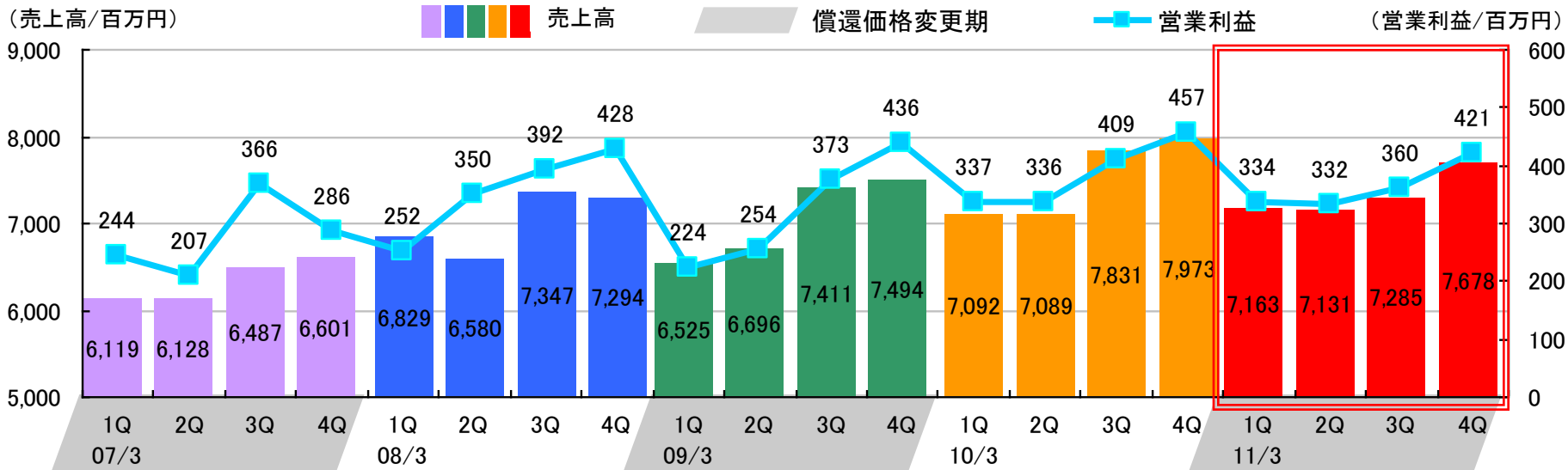
販管费率 +0.49pt

(コスト増加要因)

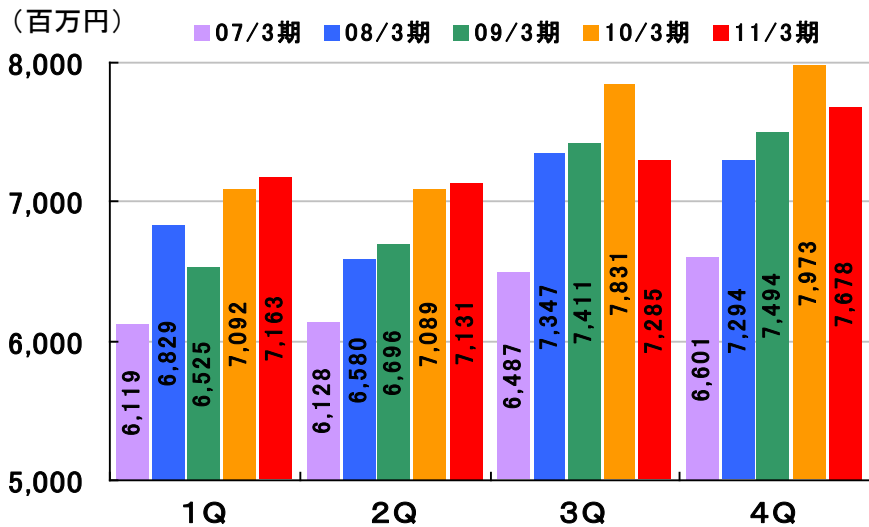
- ・営業部門強化の為の人員費増
- ・震災への義援金の支出

# 1-4 四半期業績推移

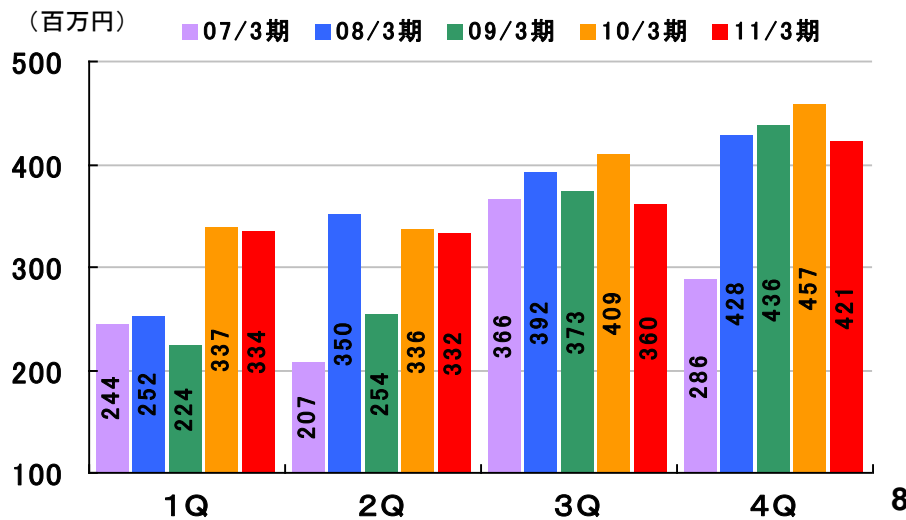
## 売上高/営業利益の推移(四半期)



## 売上高の推移(四半期別)



## 営業利益の推移(四半期別)





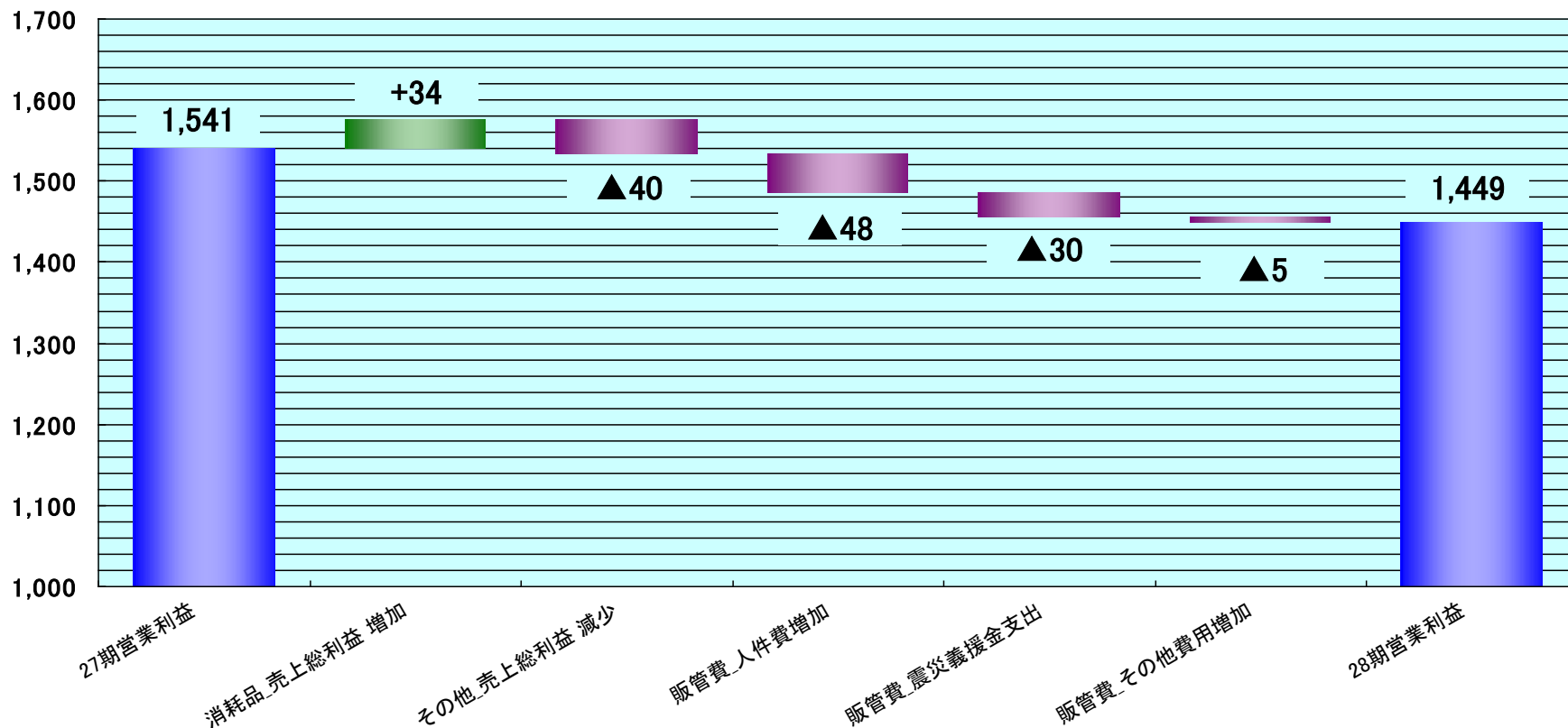
# 1-5 主要商品別販売数量伸長率(前期比)

商品区分	伸長率
■ 虚血性心疾患関連(PCI)	<b>102.2%</b>
PTCAバルーンカテーテル	( 105.1% )
BMS(ベアメタルステント)	( 90.8% )
DES(ドラッグエリユーティングステント)	( 106.6% )
IVUS(血管内超音波プローブ)	( 104.8% )
その他PCI関連	( 102.0% )
■ 心臓律動管理関連(CRS合計※)	<b>111.0%</b>
ペースメーカー関連	( 96.9% )
ICD/CRT-D関連等(植込み型除細動器等)	( 128.5% )
EP・アブレーション関連(電気生理検査用カテーテル・心筋焼灼術用カテーテル)	( 115.4% )
その他CRS関連	( 108.8% )
■ 心臓血管外科関連(CVS合計※)	<b>121.9%</b>
■ 末梢血管疾患関連(PPI)	<b>111.2%</b>
■ 脳外科関連	<b>102.3%</b>

(※)「CRS」(Cardiac Rhythm Section):心臓律動管理分野の商品を扱う専門セクション。

「CVS」(Cardiac Vascular Section):心臓血管外科分野の商品を扱う専門セクション。

# 1-6 営業利益の増減要因分析



# 1-7 要約貸借対照表

(単位:百万円、%)	2010年3月末		2011年3月末			(単位:百万円、%)	2010年3月末		2011年3月末		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額		金額	構成比	金額	構成比	増減額
<b>流動資産</b>	13,380	88.7	13,026	88.4	▲ 353	<b>流動負債</b>	8,660	57.4	7,848	53.3	▲ 811
現金・預金	3,933	26.1	4,026	27.3	+93	仕入債務	7,949	52.7	7,235	49.1	▲ 714
売上債権	8,277	54.8	7,947	54.0	▲ 330	短期有利子負債	79	0.5	72	0.5	▲ 6
有価証券	—	—	—	—	—	未払法人税等	377	2.5	286	1.9	▲ 90
商品	916	6.1	778	5.3	▲ 138	その他流動負債	253	1.7	253	1.7	▲ 0
その他流動資産	253	1.7	275	1.9	+22	<b>固定負債</b>	269	1.8	205	1.4	▲ 63
<b>固定資産</b>	1,710	11.3	1,701	11.6	▲ 9	長期有利子負債	113	0.8	41	0.3	▲ 72
有形固定資産	1,104	7.3	1,168	7.9	+63	その他固定負債	155	1.0	164	1.1	+9
無形固定資産	128	0.9	95	0.6	▲ 32	<b>負債合計</b>	8,929	59.2	8,054	54.7	▲ 875
投資その他資産	477	3.2	437	3.0	▲ 39	<b>純資産合計</b>	6,161	40.8	6,674	45.3	+512
<b>資産合計</b>	15,091	100.0	14,728	100.0	▲ 362	<b>負債・純資産合計</b>	15,091	100.0	14,728	100.0	▲ 362

# 1-8 要約キャッシュ・フロー計算書

	2010年3月期	2011年3月期	
	金額(百万円)	金額(百万円)	増減額(百万円)
<b>営業キャッシュ・フロー</b>	1,707	616	▲ 1,091
税引前当期純利益	1,548	1,462	▲ 85
減価償却費	108	135	+27
売上債権の増(▲)減額	▲ 135	330	+465
たな卸資産の増(▲)減額	80	138	+58
仕入債務の増減(▲)額	709	▲ 714	▲ 1,423
法人税等の支払額	▲ 647	▲ 711	▲ 64
<b>投資キャッシュ・フロー</b>	▲ 116	▲ 123	▲ 7
有形固定資産の取得による支出	▲ 25	▲ 125	▲ 99
投資有価証券の売却による収入	0	34	+34
<b>財務キャッシュ・フロー</b>	▲ 281	▲ 399	▲ 118
配当金の支払額	▲ 201	▲ 319	▲ 118
<b>現金・現金同等物の増減額</b>	1,309	93	▲ 1,216
<b>現金・現金同等物の期首残高</b>	2,623	3,933	+1,309
<b>現金・現金同等物の期末残高</b>	3,933	4,026	+93



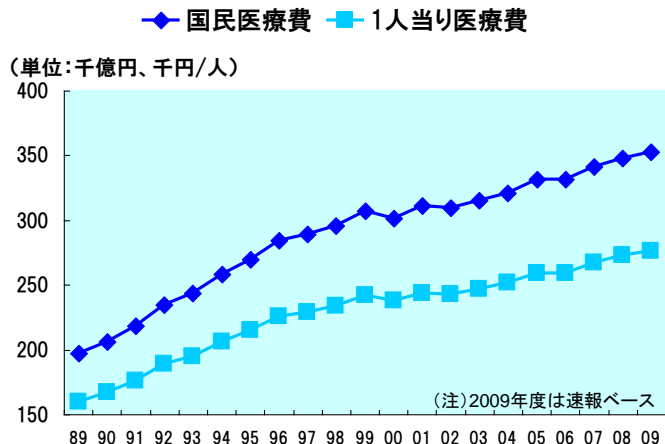
WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

## 2. 今期の戦略と予想

---

# 2-1 事業環境 厚生行政

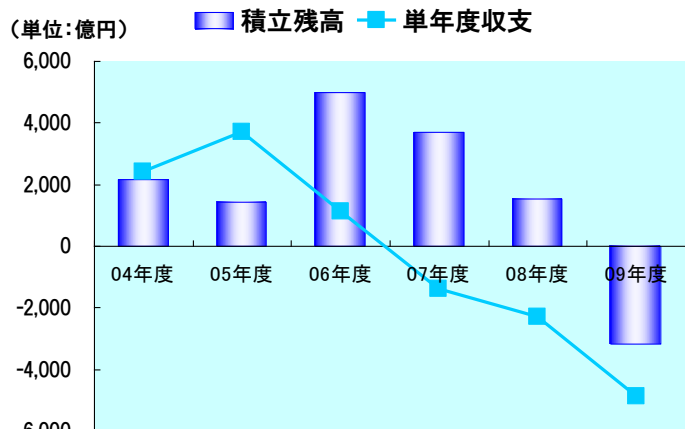
## (1): 国民医療費の増大



09年度国民医療費  
35兆2,501億円  
前年比1兆1900億円増  
(+3.5%)

(出典)厚生労働省「平成20年度国民医療費の概況」「平成21年度医療費の動向」

## (2): 医療保険財政の悪化



(出典)全国健康保険協会「平成21年度決算について」

### 医療財政再建策

診療報酬改定

後期高齢者医療制度

健診・保健指導の義務化

### 民主党への 政権交代

医療政策の抜本的な見直し

中医協改革

診療報酬改定  
病院勤務医重視

後期高齢者制度の見直し

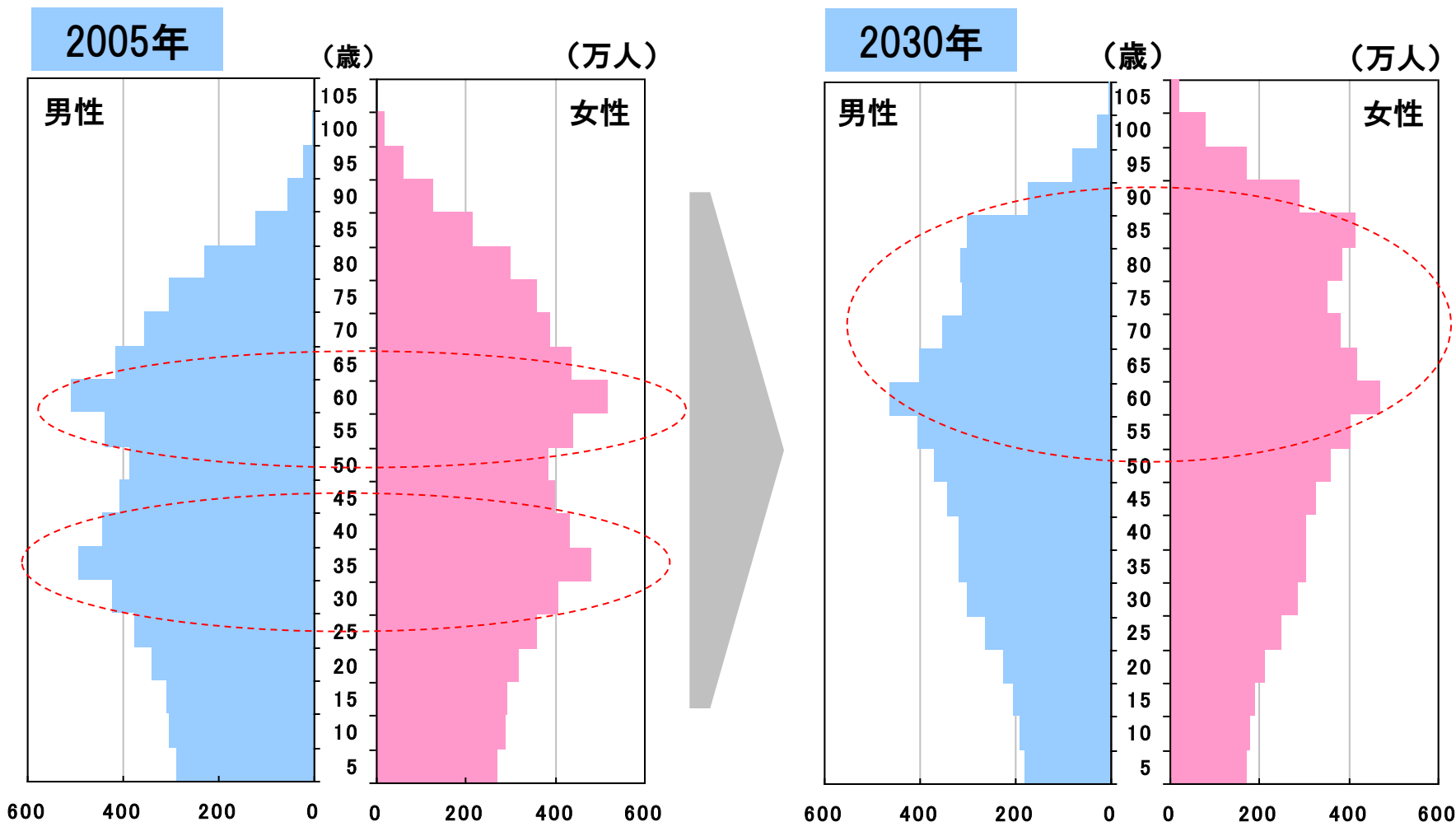
医療機器の流通改善に関する懇談会  
(厚生労働省医政局長 主催)

介護保険制度

底ばいが続く日本経済  
税収減の悪影響

# 2-1 事業環境 マーケットの拡大①

少子高齢化で激変する人口ピラミッド、人口のボリュームゾーンが上昇

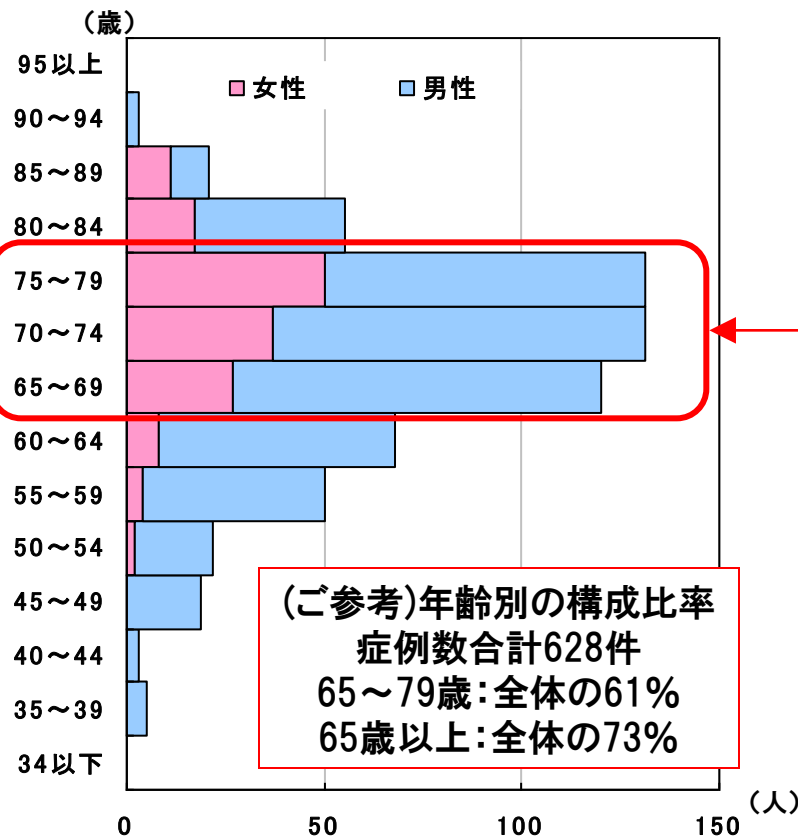


(出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口推計」(平成18年12月推計)

# 2-1 事業環境 マーケットの拡大②

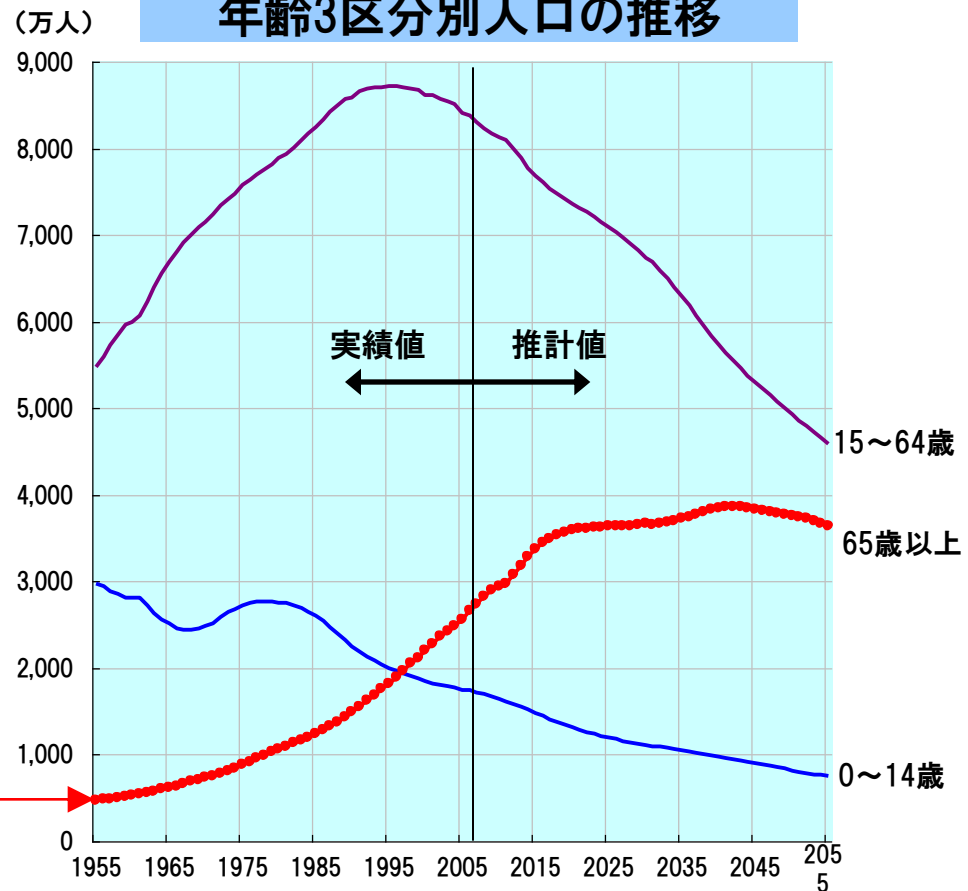
**【PCI】(虚血性心疾患関連):** 中心患者である65歳～79歳の人口は増加が続く

心臓カテーテル治療症例数(年齢別)



(出典)当社取引先の3ヶ月間の年齢別症例数

年齢3区分別人口の推移



(出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口推計」(平成18年12月推計)



## 2-2 基本戦略

### 業界再編を視野に入れたシェアの拡大

- ・当社の主要基盤で、症例数が集中する関東圏における、更なるシェア拡大
- ・成長期待分野に人員を投入し、領域を拡大
- ・総合的提案による付加価値の向上

### 機動的営業体制

- ・外部コンサルタントと自社の教育体系、プログラムの構築により営業担当者増員と早期戦力化
- ・新規顧客の開拓(院内・院外)
- ・営業支援ツール(営業サポート/モバイルPC等)の導入
- ・営業所、出張所の新設(首都圏営業所、東松山出張所)

量の拡大

業界再編を勝ち抜く  
体制の整備と運用

適正利潤

### 仕入力の強化

- ・DES新商品の投入、競合におけるボリュームディスカウント等の取引条件の工夫
- ・当社販売規模を活かした、リベート・一括購入の条件交渉、対象取引量の増加、対象商品の多様化
- ・病院、メーカー双方への営業提案を実施

### 物流管理・販売管理の向上

- ・業務改善活動(牽制と効率化)の推進・継続
- ・蓄積データの多角的な活用による迅速な意思決定と効率性の推進(BIシステム)
- ・BCPの見直し
- ・新基幹システムの開発

### 今後の流れ

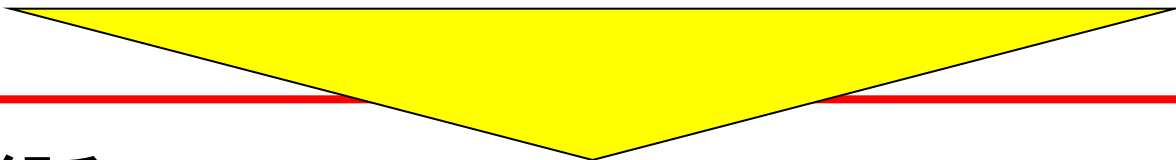
#### 新たな手技の開発・デバイスの進化

＊高度医療を安全に行うための施設基準が設定される



#### 地域基幹病院の更なる高度専門化

＊医療機関は高度医療の為の施設基準をクリアする必要がある  
施設の設備基準、年間症例数、医師の研修義務・使用経験 等



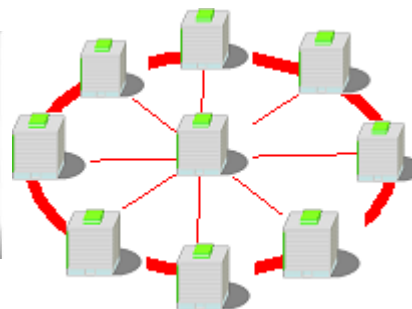
### 当社の取組み

#### 総合的提案による付加価値の向上

- ・人材紹介、設備投資、集患施策 等 総合的な提案を通じ、  
医療機関の高度医療化のサポートを行い、取引の拡大を目指す。

# 総合的提案の具体例

## 人材紹介



- 当社ネットワークを活用し、施設マッチングを考えた上での人材紹介

## 設備投資



- 高度医療を実施する為の設備選定・導入支援
- 投資回収提案

## 集患施策



- 診療圏調査等を活用した患者増加案、症例数確保
- 最新の情報、医療現場に立脚したアドバイザリーサービス

## 2-4 成長分野への取組み(CVS)

### 【CVS】(心臓血管外科領域)：循環器領域の深耕、拡大

#### 【状況】

心臓血管外科領域のステントグラフト内挿術は新しい治療法であり、米国では2006年で人工血管置換術における外科手術と同治療の比率が4:6となっている。日本国内でも移行が進むことが予想される。

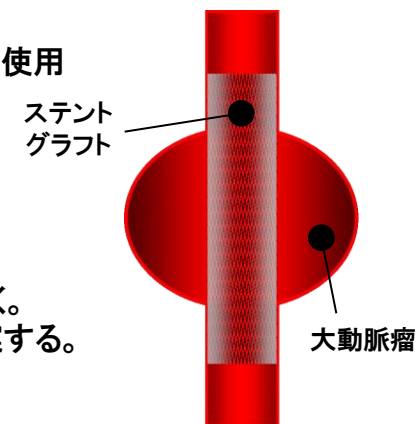
日本国内には、ステントグラフト内挿術を実施する為の施設の設備、年間症例数、医師の研修義務・使用経験などの厳しい基準がある。

#### 【取組み】

#### ステントグラフト導入(設備投資、人材確保)、収益化等のサポート

ステントグラフト等の最先端医療に取組む医療機関のサポートを推進しながら、取引を拡大していく。また、ステントグラフト導入とともに、高度医療化を推進し、他の心臓血管外科症例も増加策を提案する。

#### ステントグラフト



#### ハイブリット手術室



設備投資により先端治療の  
安全性・効率性を高める

#### 2010年診療報酬改定

ステントグラフト内挿術のオペ点数	改定前	改定後
胸部大動脈	39,600	56,560
腹部大動脈	31,600	47,400
腸骨動脈	24,800	37,200

2010年ステントグラフト内挿術のオペ点数は、大幅にアップ。  
医療機関の収益の改善にも寄与。

## 2-4 成長分野への取組み(CRS)

### 【CRS】(心臓律動管理領域) : 循環器領域の深耕、拡大

#### 【状況】

心臓律動管理領域におけるICD(植込型除細動器)/CRT-D(両室ペーシング機能付き植込型除細動器)は従来のペースメーカーよりも高額であるが、致死性の高い症状を治療できることもあり普及が進んでいる。

ICD、CRT-Dによる治療を医療機関が行う為には、施設の設備、年間症例数、医師の研修義務・使用経験などの厳しい基準が設けられている。〈参考〉ICD国内認定施設数:370施設(2010年8月1日現在 JADIA(旧ペースメーカー協議会)調べ)

#### 【取組み】

#### 高い専門知識・商品情報を持った営業員によるサポート

CRSはデバイスの高性能化・多機能化がもっとも著しい分野のひとつ。当社CRS担当者は医療従事者レベルの高い知識と商品情報及びノウハウを有し、医療機関に対して、きめ細かいサービスを提供します。

最先端医療に取り組む医療機関に対し、“安心・安全・信頼”を高いサービスレベルで供しながら、取引を拡大していく。



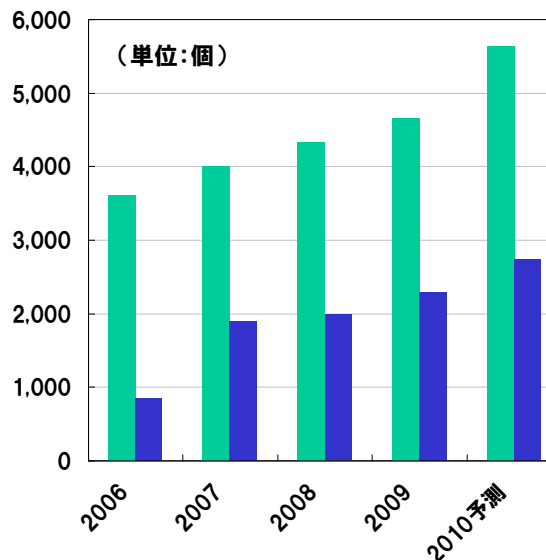
ICD

ペースメーカー機能に加え、致死性の異常に速い拍動を止め、心臓に正常な拍動を取り戻す機能がある



CRT-D

両心室の電気刺激により、心臓のポンプ機能を改善させ、致死性の異常拍動を止める機能がある



グラフ:  
植込型除細動器  
国内販売数の推移

■ ICD(埋込型除細動器)  
■ CRT-D(両室ペーシング機能付き植込型除細動器)

(出典)株式会社アールアンドディ  
「医療機器・用品年鑑2010年版」

## 2-4 成長分野への取組み(DMS)

### 【DMS】(糖尿病関連)：循環器領域以外拡大(面の拡大)

#### 【状況】

糖尿病関連における日本の一般的な治療はインスリン注射療法であり、広く普及している。この治療法は、患者様自ら1日に数度注射を行わなければならないが、当社はこの負担をなくしたインスリンポンプ療法を行う医療機器の取扱を開始した。

(参考)日本の糖尿病の現状:平成19年の調査によると、「糖尿病が強く疑われる人」の890万人と「糖尿病の可能性を否定できない人」の1,320万人を合わせると、全国に2,210万人いると推定される。

#### 【取組み】

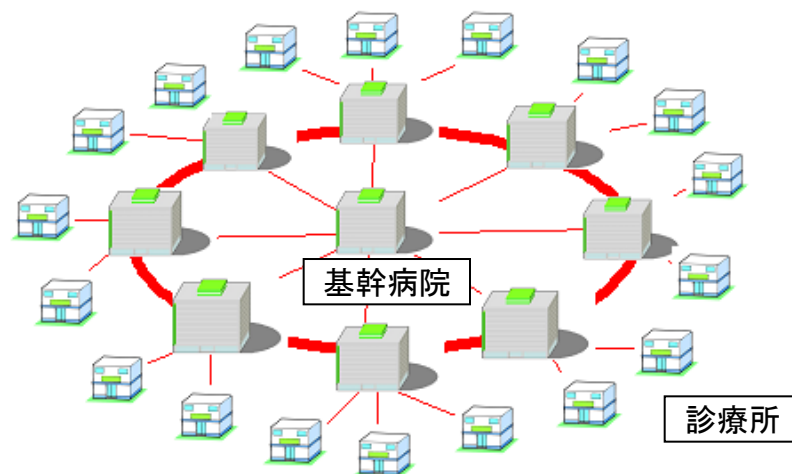
- ・糖尿病治療の新しい治療法(インスリンポンプ療法)の普及、啓蒙サポート
- ・合併症により循環器疾患となった患者様に対応する当社ネットワークの活用

患者様の負担を軽減するインスリンポンプ療法の普及に取組むとともに、糖尿病による合併症(循環器疾患)への対応サポート



#### 【インスリンポンプ療法】

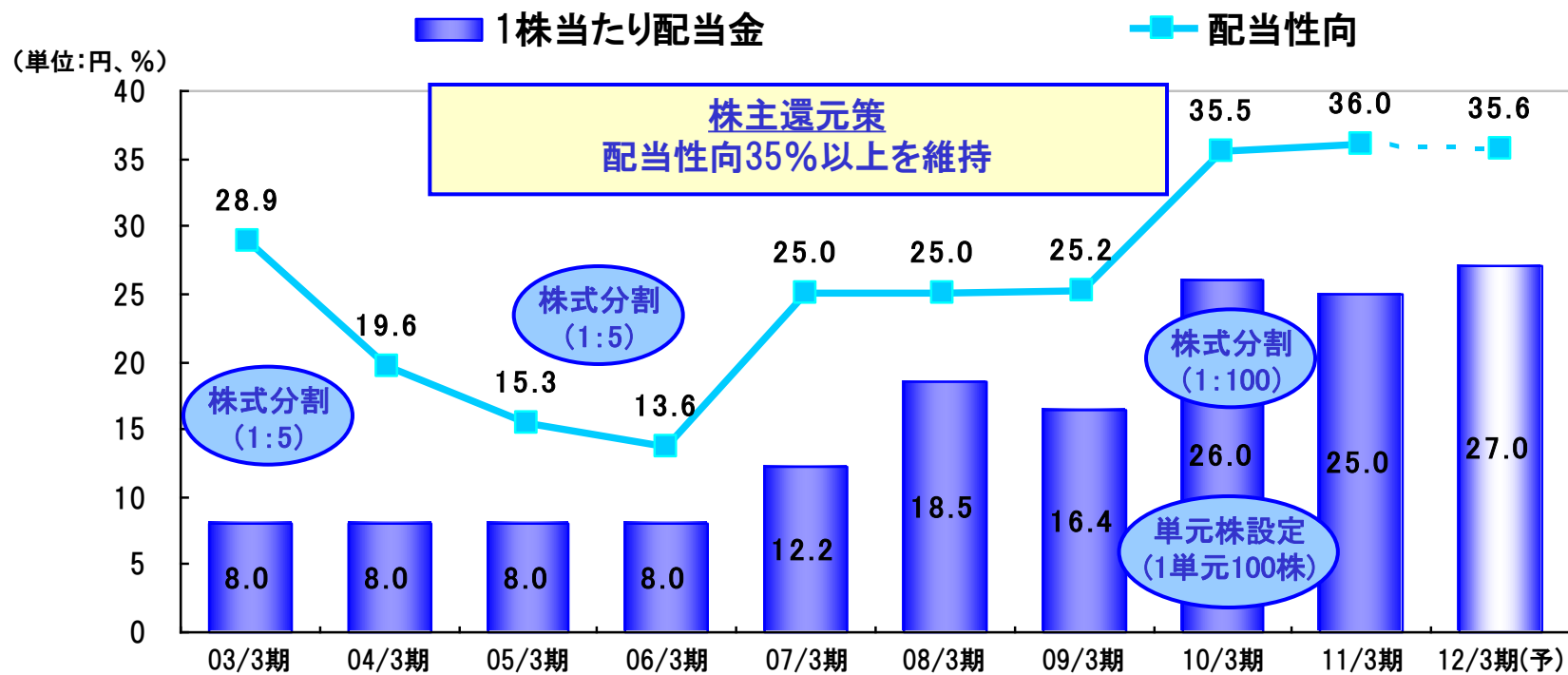
- ・インスリンを持続的に注入するコンピュータ制御の小型医療機器による治療法
- ・アメリカでは広く普及していますが国内では一般的でない治療法



## 2-5 今期予想(2012年3月期予想)

	2011年3月期 (実績)		2012年3月期 (予想)		
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	前期比(%)
売上高	29,258	100.0	32,000	100.0	+9.4
営業利益	1,449	5.0	1,601	5.0	+10.4
経常利益	1,461	5.0	1,605	5.0	+9.9
当期純利益	854	2.9	931	2.9	+9.1
1株当たり当期純利益(円)	69.41	—	75.74	—	+9.1
1株当たり配当金(円)	25.00	—	27.00	—	+8.0

# 2-6 株主還元(配当性向35%以上)



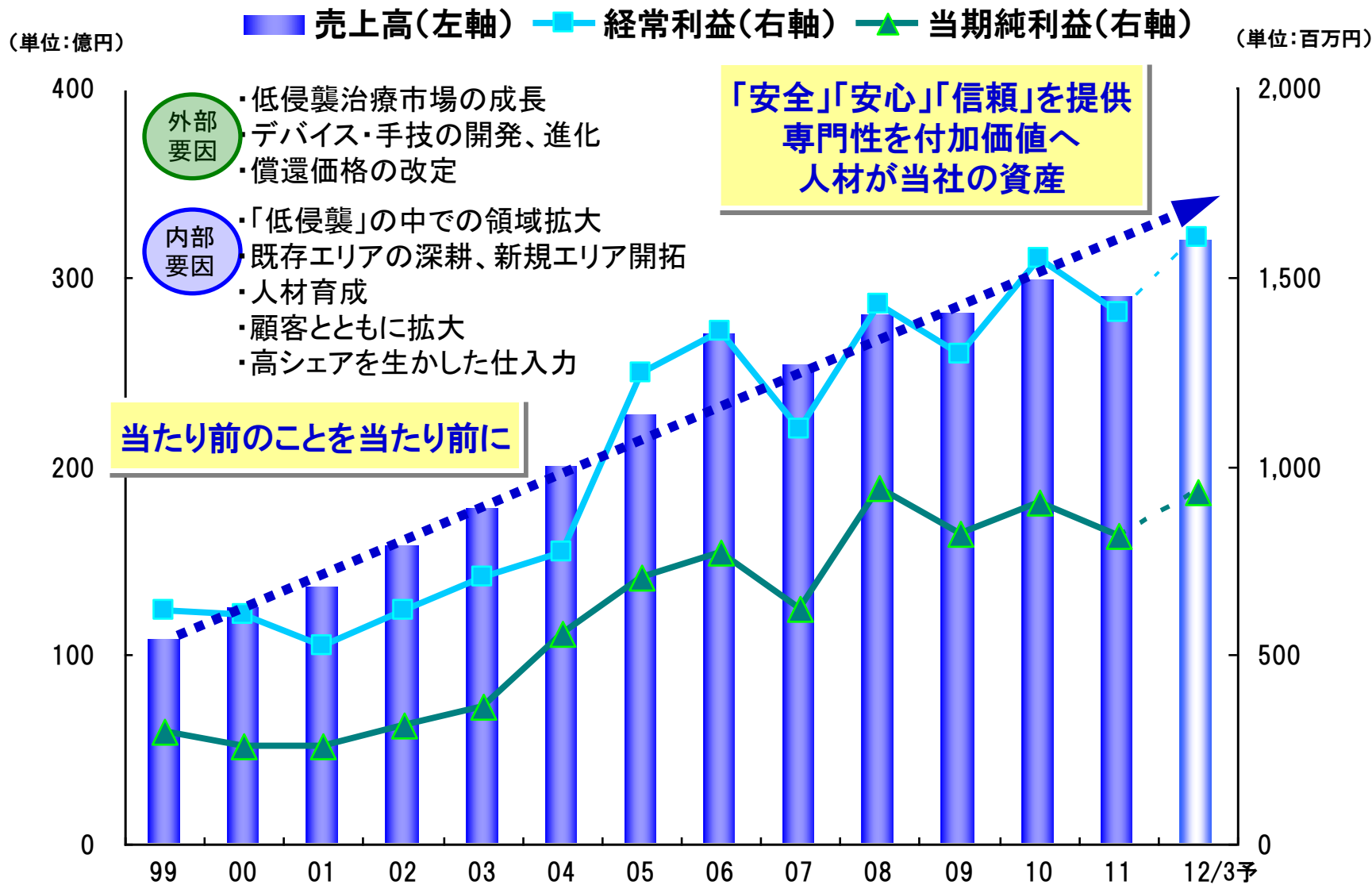
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
取得期間	04/7/1~05/5/20	07/9/3~08/2/29	08/11/7~12/12	09/2/6~3/10	11/5/12
取得株数(注)	343,100株(2.64%)	151,100株(1.16%)	251,900株(1.94%)	100,000株(0.77%)	100,000株
取得金額	238百万円	70百万円	99百万円	39百万円	61百万円
取得上限	50万株/250百万円	20万株/80百万円	30万株/100百万円	10万株/40百万円	12.5万株/76百万円

(注)1株当たり配当金、自己株式取得・消却の株数はいずれも株式分割調整後。自己株式の取得株数の後ろのカッコ内は消却前発行済株式数に対する比率

※1回~4回までの取得分は消却済み消却日:09/3/31 消却株:696,600株(5.36%)発行済株数:12,303,400株(消却後)



# 2-7 成長戦略



この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ウイン・インターナショナル(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2011年5月13日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

## 本資料に関するお問合せ先

---



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

株式会社ウイン・インターナショナル

総務部 IR担当

TEL: 03-5688-0878 FAX:03-5688-0891

HP:<http://www.win-int.co.jp>